石櫻新聞

第1面
新執行部決定
第2・3面
各部の大会結果
第4面
シャヒ先生
教育実習

平成13年7月10日発行
第112号
発行　岩手高等学校
盛岡市長田町
印刷　山口北州印刷㈱

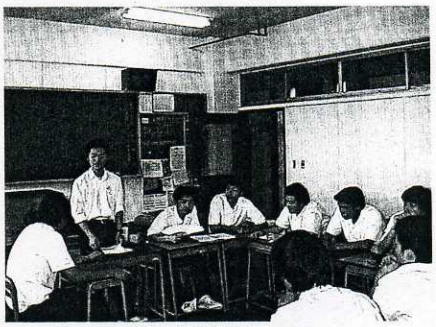
生徒・学校のため頑張る

～生徒会新執行部決定～

平成十三年度前期生徒会執行部が決定した。以下は、新執行部からの一言である。

会　長
3年E組
阿部　潤

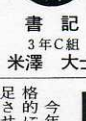
副会長
3年C組
斉藤　弘樹



執行委員会

副会長
3年E組
山口　翔大

書　記
3年C組
森合　智哉



書　記
3年C組
米澤　大士

1　【有言実行】
生徒会役員選挙で各役員が示した公約を、なるべく早い段階で実行する。しかも、「前進」だけでなく、過去の生徒会の記録もふまえた、「有言実行」を果たしていく。

2　【石櫻祭の成功】
これまでの石櫻祭は、果たして誰もが楽しめるものだったか。
今回生徒会は、今までにない、「心の底から」「やって良かった」と思える充実した内容を、念入りな準備を積み重ねることで組み上げていく。今年の講演会には、著名人を呼び、必ずや皆さんのご期待にお応えしよう。

3　【校内環境の向上】
自動販売機が一時停止になり、それに喫煙・ゴミの処理に関する問題も浮上している。生徒会として何かしらの解決策、対処法を考え、校内環境の向上を図りたい。

4　【ボランティア活動の充実】
平成十二年度後期執行部として、四月は、あしながみなさんとよりよい学校を作っていきたいと思います。

5　【パン販売の継続】
例年通りパン販売は続けて行きたい。パン販売係を組織し協力をお願いする。

【岩手高等学校
生徒会執行部】

スローガン
活動を活発化させ、生徒にとって身近な生徒会を作ろう
平成十三年度前期執行部活動方針決まる

最終学年という追い込まれる立場の中で、どれだけ生徒・学校のために身を粉にできるか、自分自身と勝負していくつもりです。がんばります。

この度、副会長になった斉藤です。任期は残り少ないのですが、会長や書記のみなさんとよりよい学校を作っていきたいと思います。

僕は、副会長になった山口翔大です。抱負としては会長やその他の執行委員と協力して岩高をもっと質の高いものにしようと思います。どうぞよろしくお願いします。

書記に当選した森合です。私は公約通り会長、副会長を補佐しがんばって行こうと思います。

今回、書記となった米澤です。あと約半年ほど、しっかり頑張っていこうと思っています。

岩手中学　生徒会執行部　発足

今年度から、中学部も本格的に、生徒会執行部を発足させることになりました。次がその役員です。

◆中学執行部　◆

生徒会長　三年甲組　北田　和也
副会長　二年甲組　佐々木裕太郎
書　記　三年甲組　古舘　静也
一年甲組　武田　明典

◆中学校生徒会は、中学校全体がよりよい中学校生活を送れるようにし、行事などでの企画や準備、運営などをします。
今年から新たにスタートした生徒会で、うまくいかない所もあるかも知れませんが、みなさんのご協力よろしくお願いします。

【岩手中学校
生徒会執行部】

春季校内体育大会
クラブ対抗リレー復活

サッカー

一年：C A E B D
二年：B D A C E F
三年：E B C F D A

柔道

一年：B E D A F
二年：B E C A F D
三年：B F D C A E

卓球

一年：C D A B E
二年：D B C A F E
三年：A B 教 D F E C

バレーボール

一年：F A C B D E C D A B
二年：E F D A C B C E A B D
三年：E B C F 教 D A A B 教 D C E

バスケットボール

一年：C D B E A D A C B
二年：D B A C E F C A E B D
三年：A E 教 F D C B 教 A D E C B

石櫻祭、今年のテーマは――

The Prime Century

最高に盛り上げようぜ！今世紀

～21世紀、理想郷を求めて～

自分が関与していない、既に用意されたモノの中から、しかたなく、自分が楽しめそうなモノを見つけようとする。
今までの石櫻祭のイメージがそうではなかったか。現在、石櫻祭実行委員会が中心となり、掲示、放送を使って石櫻祭行事参加募集を呼びかけている。今年の石櫻祭こそ皆で盛り上げようと必死だ。
当然、皆とは生徒全員を指すわけだが、ここらでデカイ事をやってみてはどうだろう。
手始めに石櫻祭を自分の挑戦の場として。

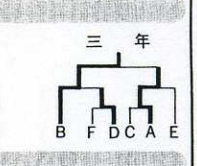
【3E　阿部　潤】

仮装に盛り上がる

五月十日十一日、そして十九日に春季校内体育大会が行われた。
雨模様の天気だったものの、外でサッカーやソフトボールが決行された。室内の競技は、つつがなく進行した。例年と比べて、野蛮なプレーの無い、よい大会だった。
中学は、三学年の縦割りで、卓球とソフトボールが行われた。
グラウンド状態を考え、リレーは後から行われた。数十年ぶりの部対抗リレーは仮装が楽しかった。【出版委員】

吹奏楽部も走る

▼桜の花も散り、若葉の頃も過ぎ、緑が目に映えるのを見て、もう夏がすぐそこまで来ていることに気づく……。本当は、ただ暑くなってきたからそう思うのだが。▼生徒だけではなく、先生達も加わり、学校全体が白熱した体育大会も終わった。一年生の皆もだいぶ学校に慣れてきたのではないだろうか。▼政治の世界では、遂に失言で世間をにぎわしてきた森首相が辞任し、新しく小泉首相が座に着いた。まあ、日本をよりよい国にしてくれるなら誰に任せてもいいんだろうけど。ところで、わが校の国会……もとい生徒会でも、新しい役員が決まった。執行部員は立派な公約を掲げていた。こちらの方も、新執行部を中心として、よりよい学校生活を送れるようにしたいものである。▼もう高総体も終了した。三年生にとっては高校での部活動の最後を締め括る大会となった。悔いの残らないように、自分の力を最大限まで引き出して頑張ってくれたであろう。きっと、高校生活の大切な思い出として記憶に残るものとなるのだから。【三A　宍戸　透】



石割桜

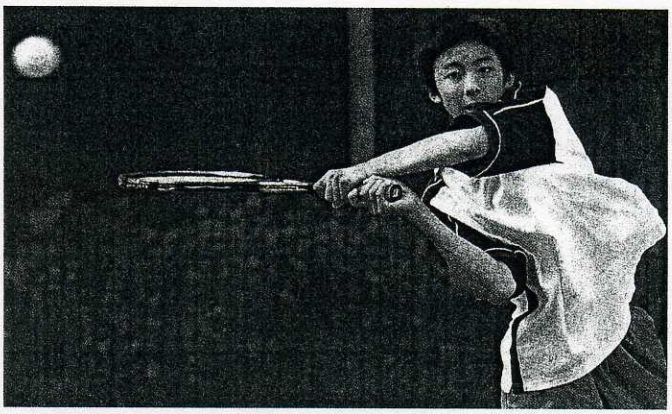
体育部

本校テニス部の活躍は、次のように、岩手日報でも大きく取り上げられています。

岩手貫録の4連覇

テニス 男子団体

盛岡南退ける　女子は盛岡南2年ぶり



盛岡南が第1シングルスを地元人（2年）の放った「ドロップショット」が、相手コートネット際に落ちて二度弾んで11で迎えた第2シングルスの第12ゲーム。岩手・谷地の視線の向こうに同じくらい喜び、岩手が土壇場の集中力で奪い、岩手を爆発させる本多好郎監督が「ガッツポーズ」。両手を突き上げた谷地の顔は、四年連続の頂点に輝いた。

エース不在　チームの勝利　岩手

男子団体　岩手の第2シングルス谷地隼人（2年）は正確なリターンを武器に快勝し、チームの4連覇に貢献＝盛岡市太田コート

シングルスの優勝候補大内史行（3年）を擁する盛岡南に対して岩手は昨年の中川順のようなエースは不在。練習試合も盛岡南に「分が悪かった」が、本多監督の「選手のガが平均し、第2シングルスとダブルスで勝負できる」の自信は揺るがなかった。

ダブルス赤坂和男・佐藤友則組（ともに3年）の勝利が突破口を開いた。8ゲーム先取の試合。6−2とリードし「気持ちが緩んだ」と佐藤。勝負どころでダブルフォールト、リターンミスを連発。5ゲームを連取され6−7。しかし、気持ちは切れなかった。「リターンで弱気になるな」「声を出せ」の本多監督のげきに赤坂、佐藤は「技術より気持ち」で頑張ったと声をそろえた。一気に3ゲームを連取して9−7で試合を決めた。

本多監督が担任を持つことになり練習時間の多くは選手単独に変わった。約三十人の選手を束ねる桶伸主将（3年）は「任がいない今年は全員の力で勝つことが目標。きょうの試合が自信になればいい。例年とはひと味違う岩手の活躍に注目だ。」（四戸）

岩手日報（平成13年6月2日）

インターハイに向けて

全国大会に出場する部員に意気込みを聞きました。【出版委員】

▼赤坂　和男
個人ダブルスで先輩がベスト16まで入ったので、記録を破るようにがんばる。団体はベスト8目指してがんばります。

▼佐藤　友則
今までのインターハイで団体戦は一回も勝てなかったけど、目指してがんばります。

▼橘　伸
テニス部の目標は、全国で勝利を収めることです。インターハイでは団対戦ベスト8を目指してがんばります。

▼谷地　隼人
個人は歴代の先輩記録をぬりかえ、団体はベスト8目指してがんばってきます。

▼竹浪　康弘
僕は実際に試合に出ることはできませんが、その分先輩たちの応援とかをがんばって、一つでも多く勝てるようにがんばります。

大会結果

部優勝！

テニス

東北大会も優勝

好調なテニス部は、六月二十二日、東北大会においても優勝を果たしました。

後列左から：竹浪（1B）・橘（3C）・谷地（2D）
前列左から：赤坂（3D）・佐藤（3A）

○高総体地区予選
4月26日（木）〜28日（土）、太田スポーツセンター
シングルス
三C　橘　優勝
三D　赤坂
二D　谷地
以上　第三位
三A　佐藤
三A　岡本
一B　竹浪
以上　ベスト16
ダブルス
橘・谷地　第三位
岡本・浦島
以上　ベスト8

○第22回岩手県ジュニアテニス選手権大会
5月5日（土）・6日（日）太田スポーツセンター
十六歳以下シングルス
一B　竹浪　優勝
一A　吉田
二F　福勢
一C　布台
一A　古館
一D　鳥居
以上　ベスト16
十六歳以下ダブルス
竹浪・石田（北松園中）　準優勝
福勢・吉田
鳥居・布台
以上　ベスト8
十八歳以下シングルス
谷地　準優勝
橘、赤坂　第三位
佐藤、岡本　ベスト16
十八歳以下ダブルス
赤坂・谷地　準優勝
橘・佐藤　第三位
高山・吉田　ベスト8

○岩手県A級シングルストーナメント
5月19日（土）、太田スポーツセンター
シングルス
谷地　第三位

剣道

◎第53回市民体
4月30日（日）、岩手県営武道館
団体戦
対　盛岡中央高　2−1
対　不来方高　2−2
対　盛岡南高　3−2
優勝

○第33回県高校選抜大会
5月13日（日）、県営武道館
対　遠野高　0−3

○第25回北鵬旗争奪大会
5月20日（日）、宮古市体育館
団体戦
対　花巻北C　3−1
対　黒沢尻北　1−3

☆第53回県高総体
6月1日（金）・2日（土）、水沢市体育館
団体戦
予選リーグ
一回戦　対　一戸高　3−1
二回戦　対　千厩高　3−2
決勝トーナメント
一回戦　対　宮古工業高　3−2
二回戦（準々決勝）　対　高田高　3−2
ベスト8

柔道

○高総体地区予選
4月25日（水・26日（木）、盛岡市立武道館
団体戦
予選リーグ
対　盛岡農業高　3−0
対　盛岡北高　5−0
決勝リーグ
対　盛岡第三高　4−1
対　盛岡第一高　3−2
優勝
個人戦
予選通過者
60kg級　三B　和田
66kg級　三E　金田一
73kg級　三C　森合
81kg級　三E　矢幅
二D　遠藤
90kg級　二C　小原
二F　阿部
100kg級　二C　内藤
100kg超級　一D　菊池

○第53回市民体
4月30日（月）、盛岡市立武道館
対　盛岡南高　1−4
対　盛岡商業高　1−3

○市内高校・一般春季十人制柔道大会
5月19日（土）、盛岡市立武道館
対　雫石高　5−2
対　盛岡南高　2−6

☆第53回県高総体
5月24日（金）〜27日（日）、岩手県営武道館
団体戦
予選リーグ
対　大迫高　0−5
対　大東高　0−4
決勝トーナメント
対　久慈農林高　2−1
対　盛岡工業高　1−1
対　盛岡中央高　0−5
ベスト8
個人戦
60kg級　三B　和田　ベスト8
83kg級　二D　遠藤　ベスト8
90kg級　二C　小原　ベスト8

サッカー

◎第53回市民体
4月25日（水）・26日（木）、県営運動公園
対　盛岡農業高　6−2
対　盛岡中央高　0−3

山岳

☆高総体
6月1日（金）〜3日（日）、松尾村裏岩手連峰
（三B石川、三C吉田、三D山内、二C橋山）
第五位／16チーム中

○全日本ジュニア男女柔道体重別選手権大会県選考会
6月3日（日）、岩手県営武道館
90kg級　二C　小原
一回戦　対　三本松（一関学院）　一本勝ち
二回戦　対　村井（富士大）　一本負け
○第53回県民体　盛岡地区予選会
6月6日（水）、盛岡市立武道館
60kg級　三B　和田　推薦
66kg級　三E　金田一　予選通過
90kg級　二C　小原　推薦
100kg級　一D　菊池　予選通過
無差別級　二C　内藤　予選通過

水泳

○県選手権
6月8日（金）～10日（日）、県営雫石屋内プール
二E　江刺家　50m背泳　第五位
100m背泳　第五位

スキー

○中学　八幡平　春のポイントレース
4月22日（日）
中二　田口智康　第一戦43位
第二戦41位
中三　高橋翔太　第一戦46位
第二戦13位
○蔵王ライザアルペンスキー大会
4月6日（木）～8日（日）
二C　檜山　GSL 63位／172人中
SL① 46位／176人中
SL② 68位／179人中
二E　小原　SL① 65位
SL② 90位
○秋田八幡平アルペンスキー大会
4月21日（土）・22日（日）
二C　檜山　SL② 73位／180人中
二E　小原　SL① 99位／180人中
SL② 72位
○月山スキー競技会
5月13日（日）・14日（月）
二A　渡辺　第三位
二C　檜山　第二位
二E　小原　第六位

ソフトテニス

○第53回市民体兼高総体地区予選
4月24日（火）・25日（水）盛岡市太田テニスコート
団体戦
ベスト8シード
個人戦
三C奥・三C今野　準優勝
三E千葉・三E佐々木　第三位
二E雪ノ浦・一E中村　ベスト8
三C高橋・三B成田　ベスト8
二C高橋・二F小幡　敗者復活
以上五組　県大会出場
☆第53回県高総体
5月31日（木）～6月3日（日）、北上市和賀川グリーンパークテニスコート
個人戦
五組とも二回戦で敗退
団体戦
二回戦　対　大東高　2－1
三回戦　対　釜石工業高　2－0
準々決勝　対　一関学院　0－2
ベスト8入賞（シード権確保）

卓球

○高総体地区予選
4月26日（木）・27日（金）、盛岡市営体育館
団体戦
Bグループ
対　盛岡市立高　3－1
対　盛岡北高　3－0
対　平舘高　3－0
個人戦
シングルス
三E　角掛　グループ優勝
三C　村上　グループ第二位
以上　県大会　出場
三B　高宮
三F　昆
一D　藤澤
以上　グループベスト4
二B　関　グループベスト8
ダブルス
高宮・角掛　グループ二位
県大会　出場
三E千葉・三B中村　グループベスト8

ハンドボール

◎第53回市民体
4月19日（木）、県営武道館
対　盛大附属高　19（9－14／10－15）29
☆第53回県高総体
6月2日（土）、花巻市民体育館
二回戦　対　盛大附属高　24（10－20／14－26）46

バレーボール

◎第53回市民体兼高総体地区予選
4月26日（木）・27日（金）、県営武道館
対　盛岡工業高　0（22－25／15－25）2
対　雫石高　2（21－12／21－14）0
対　盛岡商業高　2（25－10／25－11）0
対　盛岡北高　2（14－25／25－12／25－22）1
対　盛岡農業高　2（25－15／25－10）0
対　雫石高　2（25－10／25－18）0
予選通過
☆第53回県高総体
6月1日（金）・2日（土）、一関市総合体育館
一回戦　対　高田高
2（25－22／21－25／25－18）1
二回戦　対　大迫高　0（11－25／17－25）2
ベスト16

ラグビー

◎第53回市民体
4月28日（土）・29日（日）、運動公園ラグビー場
対　盛岡第一高　0－5
対　盛岡北高　5－15
対　盛岡第三高　12－0
対　不来方高　0－29
第四位
○第53回高総体ラグビーフットボール競技
5月25日（金）～27日（日）、松尾村上寄木グランド
Bブロック
対　一関工業高　15（0－13／15－0）13
対　水沢高　5（0－16／5－17）33

陸上競技

○高総体地区予選
4月27日（金）・28日（土）　みたけ運動公園
4×100m走　本戦へ
4×400m走　本戦へ
走り高跳び
川村　四位
砲丸投げ
二B　野里　第五位
円盤投げ
二B　野里　第七位
三E　阿部　第十一位
ハンマー投げ
二B　野里　本戦へ
やり投げ
川村、阿部　本戦へ

各部の高総体テニス

文化部

将棋

○第23回県高校大会
5月8日（火）・9日（水）、高校会館
団体戦
準優勝
個人戦
二E　佐藤　準優勝
三F　高橋　第三位
三E　北島　第四位
三E　千葉、三E　阿部
二F　白崎、二E　田山
以上　第五位

映画

○第48回NHK杯全国高校放送コンテスト県大会及び　第24回県高総文祭　放送部門発表大会
6月7日（木）、盛岡市都南公民館
創作ドラマ部門　準優勝　全国大会出場
番組部門（総合）　第四位　39校中

「幽情」の冒頭シーン

緑の募金運動に参加

今年も本校は、緑の募金街頭運動に協力しました。
この運動は、私たちの身の周りにもっともっと植物を増やして環境をよくしていこうとするものです。
五月十五日、午前と午後に分け、各学級の生活委員と生徒会執行部が大通りの各所に立ちました。
この日は快晴で、暑さの中、募金の呼び掛けをしました。【出版委員】

笑顔で募金を呼び掛ける

紹介します　外国人講師　ショーン＝シャヒ先生

この春から、オーラル・コミュニケーションの外国人講師として、ショーン＝シャヒ先生がおいでになっています。そこで、先生をもっと知るために、いくつかの質問をしました。

授業中のシャヒ先生

①出身地はどこですか？
カナダのナナイモ市という所です。

②何人家族ですか？
父、母、兄、そして私の四人家族です。

③趣味・特技は何ですか？
テニス、ラクロスです。
※ラクロスとは、先に網のついたスティックでボールを取り合い、敵のゴールにシュートするスポーツです。

④好きな食べ物は何ですか？
刺身などの日本料理です。

⑤教師になろうと思った理由は何ですか？
たくさんの子供達と楽しく勉強したいからです。

⑥岩手中・高校の印象はどうですか？
すばらしい学校です。

⑦岩手中・高校の生徒へひとこと
盛岡で楽しく授業ができよかったです。盛岡は美しく、たくさんの友達ができ、思い出もたくさんできました。【二A　菊池和人】

連載　受験生日記——その②

タクヤ君（仮名）は、四月で三年生になりました。進路を決める、という大きな壁にぶち当たりました。（本当は、もっと早くから決めていなければいけないのです。）

大学・専門学校へ進学するか、就職するか、人それぞれ違います。進学しようと思う人は授業を集中して聞く事が大切になります。（本当は、一、二年生の時からそうしているべきなのですが、三年生の初めに気を引き締めても遅くはないと信じましょう。）

就職しようと思う人は、生活態度から見直す必要があるでしょう。

タクヤ君（仮名）は、まだ進路の事を何も考えていませんでした。そのため、タクヤ君（仮名）はこれから困ってしまうことになるのです。例えば、数学は苦手だ、と三年生の授業に文系を選択していました。ところが、なんだか、医療系の学校へ進学したい気持ちになってくるのです。そして、理系の科目が受験に必要だ、ということを痛感するタクヤ君（仮名）なのでした。

〈つゞく〉

【三B　小倉征也】

教育実習の方々

六月十八日から二週間、本校に教育実習の方々が四名おいでになりました。みなさんに次の質問をしてみました。

①出身地
②趣味
③好きな芸能人
④本校の印象
⑤一言

美術科
中里藍子先生

①青森県八戸市
②友達と遊んだり飲んだり
③〝おーいお茶〟の人。

（市川新之助）

④元気ですね。
⑤短い間ですが、仲良くしていただきました。

美術科
喜田真淑先生

①宮城県
②お買いい物
③大沢たかお
④笑顔がいいです
⑤よく挨拶してくれたので、これからも、そういう気持ちを大切にしてください。

公民科
石川喜寛先生

①矢巾町
②車
③竹内結子
④本校の卒業生なのですが、在学中とあまり変わりがない。
⑤ヒマな時は遊びに来ます。

公民科
高橋義昭先生

①滝沢村
②フリーフライドスキー
③本上まなみ
④男、男、男
⑤下倉スキー場で会いましょう。

【二A　江刈内祐介】

最近のニュースから②
小泉氏選出で橋本派分裂か

森氏に続いて、小泉純一郎氏が新総裁になった。そのことで、橋本派が分裂状態になっているらしい。

では、どうして、橋本派は、そのような状態になったのだろう。

その原因は、橋本氏擁立に造反した派閥の四人の若手のうちの大村秀章氏にある。そう私は考える。

大村氏は次のように語った。「地元愛知県での予備選の結果に従い、迷うことなく、橋本氏ではなく、小泉氏に入れた。」と。本選で小泉氏に投票したことを明言したのだ。

これまでの橋本派の通念からすれば、ありえないことだ、と私は思う。

また、自民党の衆議院議員から次のような声も出ていたらしい。「小泉氏の出方次第では、橋本派に主要なポストが回って来なくなる。派は二つか三つに分裂する。」

橋本氏は派の幹部会で、「会長を辞めたい」と漏らしたという。更に、橋本氏だけでなく、橋本派の村岡兼造氏も、秋田県知事選の敗北の責任を取って辞すると言っている。

辞めたくなる気持ちも分からないわけではないけれども、今後、橋本派はどのようになってしまうのか、注目したいと思う。

小泉氏が新総裁になり、新首相になったことでいいこともあろう。しかし、ある意味では混乱も生じたのではないだろうか。もし、小泉氏の次の総裁が決まる際には、またどこかの派閥が分裂するのではないだろうか。そして、派閥や旧来の政党は消滅していくのかもしれないと思う。

【三D　阿部正樹】

芸術鑑賞教室

原作者も演じた

六月二十九日、盛岡市民文化ホールで芸術鑑賞教室が実施された。

演目は「ザ・ウインズ・オブ・ゴッド」だった。

コワモテ俳優の今井雅之さんが原作で、自分で演じたこともある。

内容は、今の若い漫才コンビが、昔の戦争の中へタイムスリップするというものだった。

ピンチになったら神風が吹いて勝てる、と思わされて戦争をしていた昔の人々の中に、今の人が入っていったらどうなるか、考えることになった。

【出版委員会】

壊れる17歳　番外編
——最近の日本

このごろ、十七歳ではない、大人の凶悪な事件も目立ってきた。世の中全体がおかしくなってきているようだ。昨年に多く起こった十七歳の事件はその前触れだったのだろうか……。

◆　◆

最近のジャパニーズ・ヒストリーはやたら乱れている。なぜなら、小学生らを殺傷した宅間守その他もろもろ十三（？）名が日本を騒がしているからだ。

こうしたことを追及してみたい。

例えば、幼児虐待が目立っている。

虐待をする大人達に私は言いたい。

「育てていく自信が無いのなら子供を作るな！」

「子供はストレス解消の道具ではない！」

「子供は世界の財産だ！」

この三つを訴えておく。

ところで、このような暗い話ばかりではなく、明るい話もある。

例えば、スポーツでは、アメリカの野球で大活躍のイチローや新庄らがいる。他にも、ローマのサッカーで活躍中の中田が、チームに大きく貢献した。明るい話題を届けてくれる日本人だっているのだ。

以上のことをまとめてみると、いい話があれば悪い話もついてくる、ということになる。

この状況はいつまでたっても変わらないのか、と思う。そして、いいことに比例して悪いことも起こるのではないか、と気になる。

凶悪犯罪が世の中のおかしさを表しているようだ。

しかし、世の中がおかしいからといって、犯罪に走るのは許せないことである。

【三D　門口敬吾】

あしなが育英会募金活動行う

四月中旬、全国的なボランティア団体であるあしなが育英会の募金活動が行われた。あしなが育英会とは災害や病気などで親を亡くした遺児たちの進学や、また最近ではリストラによって就学が困難になった学生を支援する団体です。

本校は中三前で募金活動を行いました。しかし、本校からの参加者は生徒会執行部だけでしたので、次回からは積極的な参加者がいるように呼びかけていきたいと思います。

募金活動は思ったよりも募金する人が少なくて結構たいへんでしたが、協力したことで充実感が得られました。

次は秋に募金が行われるという事なので、気が向いたり、ボランティア活動をやってみたいと思ったりした人は参加してみてください。

【生徒会書記　米澤大士】

編集後記

偶数月に発行する予定が遅れました。その代わり、構成が二面から四面に増えています。各部の大会成績をできるかぎり載せようとしたら、二面で収まりきらなくなったのです。各部がいろいろな大会で活躍しているのは、とてもうれしいことです。それを、伝えていくことをこれからも続けたいと思います。

ところで、各部の活躍を伝えるために、写真が重要な役割を果たすことは言うまでもありません。そんな写真を、今回は写真部から提供されました。また、デジタルカメラも使いました。今後の新聞作りにみなさんからの写真の提供をお願いします。【出版委員】